

ひたちおおた **てくてくウォーク** ④

市内の自然・史跡や特産品なども交えて見所をお伝えしながら、地元の身近なウォーキングコースを紹介していきます。地元の意外と知られていない名所や素晴らしい自然、見所を巡りながら、皆さんもぜひ歩いてみませんか。



まんばた
万畑のカシ

エコミュージアム活動で新たに発見された巨木。源頼朝が金砂城攻めのとき、山頂に万本の旗を立てたことから万畑の名がつけました。このカシは10月に行われる全国巨木フォーラムのパンフレットの表紙を飾ります。



ビュースポット

山道に入るとかなりの急勾配となるが、登るだけの価値は十分にあります。空気が澄んでいる日は日光連山まで見渡すことができます。

小さな水車がある



岩井戸跡と桜並木

昔、西金砂神社の神事に使われていたそうです。また平成10年に整備された桜が毎年きれいに咲きます。



そば畑と乾燥場

蕎麦の季節には白い花が、春にはクリムソクローバーの赤い花が咲きます。周りの農家の乾燥場とマッチしてそれぞれの季節にまた来たくくなります。



弁天様のもみじ

エコミュージアム活動でお室に認定されました。途中の川がけっこう深く、橋を渡るのにドキドキ



なんとと言っても「常陸秋そば」が旨い! 「そばと長寿のイス」があり、座ると長生きするそうです!

赤土ハイキングコース

今回は、「赤土町」を歩いてみました。「赤土」と言えば、やはり蕎麦です。赤土町の真ん中に「そば工房」があり、大勢のお客さんと賑わっています。

今回、この「そば工房」から出発しました。駐車場を出てすぐに、エコミュージアム活動でお室

に認定された「弁天様のもみじ」があります。通りを北に向かって歩いていくと、幾つもの蕎麦畑があり、畑で東京からやってきて蕎麦を作っているという方と出会い、一緒に歩いていた地域の方と畑の手入れの仕方などで盛り上がりました。また、少し山に入ると全国巨木フォーラムのパンフレットの表紙になった「まんばた万畑のカシ」に出会います。推定樹齢800年と言われる圧倒的な存在感に、パワースポットのような不思議な感覚を受けます。

山から見下ろす景色も絵葉書のようにきれいなものばかりで、季節によりその姿を変化させていきます。2時間ほどかけて5キロのコースを「そば工房」まで戻ってくると適度にお腹が空いて、旨い蕎麦を食べたくなること請け合いです。



表紙に
よせて

8月14日に鯨ヶ丘(東一・二・三町)で盛大に開催された、「がんばってます常陸太田夏祭り」。祭り会場に詰め掛けた大勢の観客の中を、威勢のいい掛け声と共に市民みこし同好会「鶴龍会」の神輿が進みます。担ぎ手の掛け声と観客の声援が真夏の夜に響き渡り、祭り会場には常陸太田の元気が溢れかえっていました。

発行 常陸太田市 / 編集 情報政策課 〒313-8611 常陸太田市金井町3690
72-3111(内線303・304) Fax72-3002

* 広報ひたちおおたは市のホームページでもご覧になれます
URL <http://www.city.hitachiota.ibaraki.jp/>

この広報紙は再生紙を使用しています